

予 算 要 求 資 料

令和4年度3月補正予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 飛驒センター管理運営費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部 県民文化局 文化創造課 文化施設係 電話番号：058-272-1111(内3125)

E-mail：c11146@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 1,616 千円 (現計予算額： 259,893 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	259,893	0	0	1,684	151	0	286	0	257,772
補 正 要求額	1,616	0	0	0	0	0	0	0	1,616
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

生活文化を中心とした県民の文化活動及び交流の場を提供し、もって県民文化の振興を図るとともに、地域社会の活性化に寄与することを目的として設置する飛驒・世界生活文化センターについて、施設を管理運営するために必要となる光熱費が、昨今の燃料費等の高騰により、当初見込みを大幅に超過していることから、このままでは施設の運営に支障が出るおそれが生じた。

(2) 事業内容

- ・燃料費高騰による光熱費の増加見込分について、指定管理料を増額する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県 10 / 10

(4) 類似事業の有無

- ・ 県民ふれあい会館管理運営費
- ・ ぎふ清流文化プラザ管理運営費

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	1,616	光熱費の増加見込分
合計	1,616	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- 「清流の国ぎふ」創成総合戦略による位置づけ
- 3 地域にあふれる魅力と活力づくり
- ① 「清流の国ぎふ」文化・芸術の創造・伝承

(2) 後年度の財政負担

なし

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
光熱費の高騰による施設運営への影響を最小限にとどめる。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

事業の性質上、目標設定になじまないため。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・取組内容と成果を記載してください。
令和3年度	<p>令和5年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和4年度	<p>令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	生活文化を中心とした県民の文化活動及び交流の場を提供し、もって県民文化の振興を図るとともに、地域社会の活性化に寄与するため、光熱費の高騰により施設閉鎖といった事態を回避する必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	現時点では、光熱費の高騰による施設閉鎖は行っていない。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 2	光熱費については、入札による契約や、節約に努めている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 光熱費の高騰がいつまで続くか、どこまで上がるか不透明なところ。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか これまでの指定管理業務で培われたノウハウを有効に活用し、利用者の利便性の向上に努めるとともに、地元自治体や地域住民、民間団体等と連携し、県民文化の振興に資する文化事業を実施する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	